

クエスト通信

天童三中総合学習担当発行

令和5年5月25日

探究の旅 3年の修学旅行、1,2年の校外学習を無事に終了しました。

1年生 「天童クエスト～我が街天童の魅力を解明せよ～」

天童市内を探検し、クエストミッションにチャレンジ。アドベンチャーゲームに例えて、勇者(班長)、賢者(副班長)、レンジャー(ナビ係)、僧侶(健康安全係)、魔法使い(記録係)となる班編成。天童市街地の観光スポットや史跡を探検し、班員とともに郷土の魅力を解明していく。

2年生 「若鷲クエスト絵ハガキの旅～in村山～」

公共交通機関を使った村山地方の探検の旅。東は山形市山寺。南は上山市。西は寒河江市。北は東根市。行ってみたい場所を絵ハガキの中から選び、決まったポイントに行き、ミッションにチャレンジ。

3年生 「修学旅行 班別キャリア研修」

政治、経済、文化の中心、首都圏。官公庁、企業、文化施設などを訪問。私の行き方、将来の自分探しの旅。

天童三中のクエストエデュケーション

天童三中の特色のひとつ。「クエストエデュケーション」は、仲間と力を合わせ、考え、行動し、自分だけのオリジナルの答えを見つけることを体験的に学ぶ探究型プログラムです。昨年度の取り組みが新聞報道されました。

自ら探究するプログラム



天童三中の「クエストエデュケーション」

天童市の天童三中(菅原美穂校長、38歳)は、探究学習「クエストエデュケーション」に取り組んでいる。各学年に応じたプログラムが用意されており、生徒たちは自ら問題を発見し、解決することを通して生きる力を育んでいる。

クエストエデュケーションは「教育と探求社」(東京)が開発したプログラムで、全国の6万2千人の中高生が受講している。天童三中は2020年度、新型コロナウイルス禍の影響で、2年生の職業体験ができなくなったことをきっかけに取り入れた。

1年生の「クエストミッション」はゲーム感覚で天童市内を探検し、魅力を説明していく。2年生は実在する企業

全国6万2000人受講 学年上がるごとに内容深く

へのインターンシップを教室で体験できる「コーポレートアクセス」に挑む。3年生は社会の中の課題を見つけ、解決策を探る「ソーシャルチャレンジ」に取り組む。学年が上がるごとに内容も深まっていく仕組みになっている。

2年生のコーポレートアクセスでは、大手企業から提供された「ミッション」と呼ばれる課題に、自分たちなりの企画案を提示する。社員からアドバイスを受ける。クエストエデュケーションの1年間の成果を発表する場「クエストカップ」に昨年度の2年生が初めて出場し、1チームが全国準グランプリに輝いた。

いずれも3年の伊藤正人さん(18)、太田聖也さん(18)、近野史弥さん(18)は昨年度取り組んだコーポレートアクセスについて「プレゼンテーションや要約の方法が身についた」「チームで一つのプロジェクトを完成させる魅力を知った」と話す。来月から取り組むソーシャルチャレンジに対し「2年生の時より楽しくなると思う」とワクワクする」と話した。

クエストエデュケーションを担当する渡辺昭徳教諭(61)は「学習指導要領にある『主体的・対話的で深い学び』を体験できる、面白いプログラムだと思う。全国の中高生や社会人と意見交換する機会もあり、生徒たちにはいい刺激になっている」と話した。

(落合慶)

「山形新聞:令和5年5月20日」

*過去の記事は、本校HPに掲載中

